昭和中だより
ハートフル昭和

昭和中 HP

令和８年９月 30 日
第　６　号
昭島市立昭和中学校
校長　　渡　部　　尚

「釜石の奇跡」から学ぶ防災　～中学生ができること～

地震、集中豪雨、台風……夏休みから現在にかけて、日本国内で自然災害が続いています。先日の台風 25 号では、私たちの地域は大きな被害はなかったものの、神奈川県や千葉県を中心に甚大な被害が出ています。ニュースで報道されている被災地の様子から、現地の方々の心情を思うと、いたたまれない気持ちになります。気候変動の影響もあり、いつ、どこで大きな災害が起きてもおかしくありません。今回は、私たちができることは何か、どんな心構えを持つべきなのかを考えてみたいと思います。

皆さんは「釜石の奇跡」を知っていますか。平成 23 年の東日本大震災で、岩手県釜石市の小中学生を含む約 3,000 人が、迫りくる津波から逃げ延びた出来事のことです。市内にある釜石東中学校では、激しい揺れにより全員が校庭に避難した直後、津波の危険を察知した生徒たちが「早く逃げろ！」と大声で叫び、高台へ走り出しました。それを見た隣の小学校の子供たちも後に続き、押し寄せる津波を見て「もっと高い場所へ！」と自分たちで避難場所を変えながら、２キロを走り抜きました。その道中、多くの中学生が小さな子どもや高齢者を支え、励まし、手を引いて避難するなど、全員で助け合ったそうです。

この出来事は生存率の高さから「奇跡」と呼ばれますが、釜石では日頃から地震と津波を想定した防災教育と避難訓練が行われていたため、その成果なのは間違いありません。避難の第一歩として、指示をしっかり聞き、「おかしも」の原則を守ったこと。その基本を守ったうえで、次なる危機に備えて素早く正しい判断ができたからこそ、多くの大切な命を守ることができたのです。

さて、皆さんは中学生です。小学生の頃よりも心身ともに大きく成長しています。これまでは大人から「守られる立場」でしたが、体力も判断力もついた皆さんは、「自分や家族の安全を守る」（自助）ことに加え、幼い子どもやお年寄りのために「地域を守る」（共助）ことができる人になっています。当時の釜石の中学生のように、災害が発生した時には素早く判断して周りに声をかけ、人のために行動することができる存在は、地域にとっての大きな「戦力」なのです。

10 月 25 日（日）には、昭島市の総合防災訓練が本校を会場に行われます。地震を想定した起震車体験、火災発生時の煙体験、避難所としてのテント設営、自衛隊による炊き出しなど、非常時の行動を学べる貴重な機会です。都合のつく人はぜひ参加して、地域の方々と協力しながら実践的な防災行動を体験してください。これを機に、いつ起こるかわからない災害に備え、本気で防災について考え、行動できるようにしていきましょう。



（9 月 28 日　朝礼講話より）

10 月　行事予定

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	木	都民の日　専門委員会	17	土	
2	金	中央委員会	18	日	
3	土	学校公開（１～３校時）	19	月	生徒会朝礼　安全指導
4	日		20	火	専門委員会
5	月	修学旅行（３年）始　職場体験（２年）始	21	水	小中連携の日（⑤カット）
6	火		22	木	中央委員会　避難訓練
7	水	修学旅行（３年）終　職場体験（２年）終	23	金	
8	木	振替休業日（10／３）	24	土	
9	金	笑顔と学びの体験プロジェクト⑤⑥	25	日	昭島市総合防災訓練（本校会場）
10	土		26	月	朝礼
11	日		27	火	
12	月	スポーツの日	28	水	
13	火	音楽祭練習始　第２回進路説明会	29	木	音楽祭
14	水		30	金	三者面談（３年）始
15	木		31	土	
16	金	生徒総会　漢字検定			

- 本校でもインフルエンザが流行り始めています。感染防止に努めてください。
- ３年生はいよいよ修学旅行です。万全な体調で臨めるよう、ご家庭でも健康管理をよろしくお願いします。
- ２年生は職場体験が行われます。貴重な体験になります。弁当持参など、体験先によって様々な指示がありますので、ご協力をお願いいたします。
- 10 月３日（土）は、学校公開です。保護者の皆様、地域の皆様、ぜひお越しください。
- 10 月９日（金）の、笑顔と学びの体験プロジェクトでは、学校にお笑い芸人の方が来られ、漫才を披露してもらうとともに、生徒たち自身も漫才にトライして、コミュニケーションを学ぶというプログラムになっています。
- 10 月 29 日（木）は本校の全校での２大イベントのひとつ、「音楽祭」があります。すでにお伝えしている通り、今年度は会場を福生市民会館に移し、実施します。本校生徒の響き渡る歌声、合奏はもはや伝統となっています。ご期待ください。

